

「べにばなネット」って何ですか？



複数の医療機関で、患者さんの同意のもと、ICT(情報通信技術)を活用し、診療情報を共有する村山地域のネットワークのことです。病院、かかりつけ医が一体となって、切れ目のない医療サービスを提供することができます。

患者さんが指定した
医療機関でのみ
診療情報を共有します。

個人情報保護対策



① 情報の暗号化

厚生労働省のガイドラインに基づいた、高度な暗号化処理により、診療情報を保護します。

② 端末の特定

診療情報を参照できるのは、事前に審査を受けて認められた人とパソコンに限られます。

③ 閲覧の記録

いつ、どこで、だれが、どの情報を見たかを記録で確認します。

④ 医療従事者の責務

医療従事者が守秘義務に違反した場合、罰則が科せられます。



どんな効果がありますか？



- ① 医療情報ネットワークに参加している医療機関の診療情報を共有できるため、地域で一貫した診療が可能になります。
- ② 重複した検査や薬の処方を防ぐことができ、医療費の負担軽減につながります。

【共有する診療情報 ※】



(※) 共有する項目は情報開示病院により異なります。

血液検査結果

お薬の処方

レントゲン、CT等の
画像情報

診療録 など

医療情報ネットワークに参加するには？



べにばなネットに参加している医療機関に、「患者同意書」を提出してください。
その際、患者さんはご自身の診療情報を共有する医療機関を指定できます。
また、べにばなネットに参加するために、患者さんが負担する費用はありません。

- ※ 「患者同意書」は裏面にあります。
- ※ 診療情報は、指定した医療機関以外では閲覧できません。
- ※ べにばなネットでの情報共有を希望しなくなった場合は、撤回届を提出してください。速やかに情報共有を停止します。

お問い合わせは
村山地域医療情報ネットワーク協議会
(山形県村山保健所内事務局)

電話：023-627-1245

村山地域医療情報ネットワーク

べにばなネット

のご案内



診療情報開示病院

診療情報開示病院は、主に診療所などの閲覧のために、既存の診療情報を提供します。

訪問看護ステーション

(将来的には薬局・訪問看護ステーション・介護施設との連携や情報共有を視野に入れています。)

薬局



データセンター

情報開示病院が公開した診療情報は安全性を確保するため暗号化され、個人情報漏れることはありません。

介護施設



歯科診療所



診療所・他の病院

受診医療機関がかわっても、継続した治療を受けることができ、重複した検査や薬を防ぐことができます。



BENIBANA-net

(2015.1.14 版)